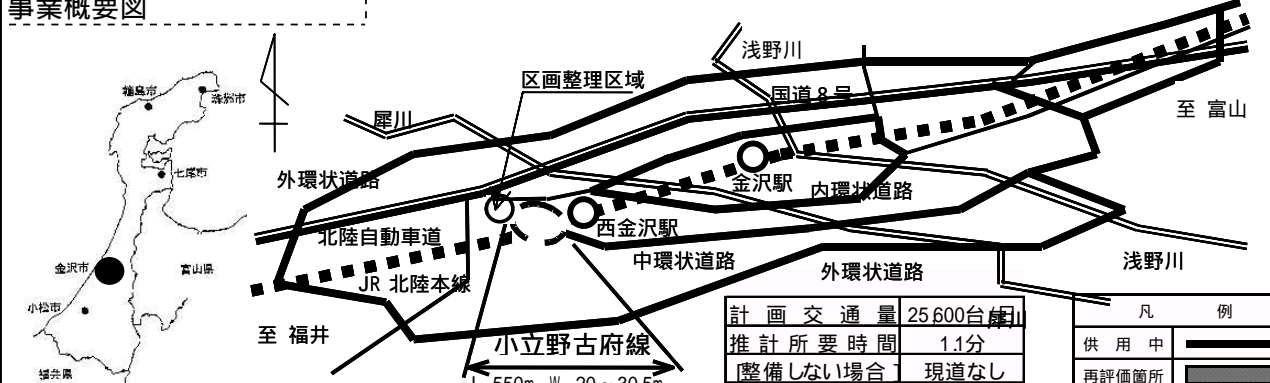


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：北陸地方整備局 都市・住宅整備課
担当課長名：田村 英之

事業名	こだつのごぼせん 小立野古府線	事業区分	街 路 (市 道)	事業主体	金 沢 市						
起終点	自：石川県金沢市西金沢3丁目 至：石川県金沢市押野2丁目	延長	0.6 km								
事業概要	小立野古府線は、金沢都市圏の環状道路網における中環状道路の一部を担っており、街路整備プログラムの中でも優先度が高い路線として位置づけられている。また、当事業区間は、小立野古府線の中で唯一の未供用区間で、JR北陸線と立体交差する新設の4車線道路である。										
H6年度事業化	S40年度都市計画決定 (H6年度変更)	H6年度用地着手	H11年度工事着手								
全体事業費	約62億円	事業進捗率	84%	供用済延長	- km						
計画交通量	25,600台/日										
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 4.2 (残事業) 29.6	総費用 (残事業)/(事業全体) 10/70億円 事業費：9/69億円 維持管理費：1/1億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 291/291億円 走行時間短縮便益：272/272億円 走行費用減少便益：17/17億円 交通事故減少便益：2/2億円	基準年	平成15年						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> 円滑なモビリティの確保（ボトルネック踏切となっている太郎田踏切の交通改善が期待される。） 都市の再生（広域道路整備基本計画に位置付けのある環状道路を形成する。） <p style="text-align: right;">他4項目に該当</p>										
関係する地方公共団体等の意見	当路線は、地域間のアクセス強化、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことから、周辺町会等から早期完成への要望を受けている。										
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	周辺の区画整理事業の完成や駅前広場の整備などにより、鉄道と平面交差する当路線周辺の道路はますます交通渋滞が激しくなっている。										
事業の進捗状況、残事業の内容等	平成6年度から事業着手し、用地補償については平成15年度にはほぼ完了予定である。残事業としては、JR西日本への委託工事である鉄道部の横断箇所や西金沢地内の橋梁上部工が中心となる。										
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	事業着手後の阪神淡路大震災により設計の見直しを行なったため、事業期間が延長となった。今後は、JR西日本への委託箇所である鉄道部横断を主として工程調整を行なうとともに、早期完成をめざす。										
施設の構造や工法の変更等	工場製作やプレキャスト製品を採用し工期短縮を図ることとしている。										
対応方針	事業継続										
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、整備の必要性及び重要性が高いと考えられる。										
事業概要図	 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>計画交通量</td> <td>25600台/日</td> </tr> <tr> <td>推計所要時間</td> <td>1.1分</td> </tr> <tr> <td>整備しない場合</td> <td>現道なし</td> </tr> </table>					計画交通量	25600台/日	推計所要時間	1.1分	整備しない場合	現道なし
計画交通量	25600台/日										
推計所要時間	1.1分										
整備しない場合	現道なし										

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。